

集落による
集落のための

シンクタンク

みんなの集落研究所 アニュアルレポート 2019 年次報告書

2019/04/01 - 2020/03/31



特定非営利活動法人 みんなの集落研究所

[県南事務所]

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階
☎ 086-206-6140

[県南／県北共通 Fax] 086-206-6143 [Mail] npominken@gmail.com [HP] http://www.npominken.jp

みんなの集落研究所HP

Facebook

Twitter



特定非営利活動法人
みんなの集落研究所



2019年度とこれまでの7年間を ふりかえって

地域を主語とした、
地域支援のプロフェッショナルを目指す。

設立から7年。

まとめとなった2019年。

石原：2019年度は「支援手法の確立」と「次世代育成」に関して、新たな取り組みに挑んだ1年間でした。これまで、当法人は地域の人たちの意思を主とした地域運営とそのための組織づくりについて、行政による制度づくりから現場のご支援までを通じて行うことを1つのポリシーとして取り組んでまいりました。それは、大きな仕組みも基本は当事者たる人たちの意思がなければ意味がないと考えているからであり、また、地域の方々にはそれだけの力があり、地域にはその可能性があると信じているからです。この2019年度はこれまでの取り組みから、そうした考え方について当法人の調査員・研究員の中でも一定の確立ができ、そして、それを他の方へお伝えできるような段階まで来たと言えます。ある意味では、7年間のまとめでもあったと思います。

阿部：この7年間で2人だった職員も8人まで増えました。今後さらに事業を拡大し、必要としてくださる地域に貢献していくには、個性による属人的な支援を変えていかなくては、

地域のつながりで社会基盤は
支えられている。
これを踏まえ、オンライン技術や
テクノロジーをどう使うか。

石原 達也

ISHIHARA TATSUYA

NPO法人 みんなの集落研究所 代表執行役

ありません。こうした地域を主語に考える取り組みを行うことで、結果として分野横断のコーディネート役を務めさせていただくことも増え、またその効果を実感しています。こうした取り組みが今回の支援手法の整理、具体的なアウトプットとしては「集落ファシリテーター養成講座」の開催につながりました。

地域支援という 仕事の確立を目指す。

石原：今回の「集落ファシリテーター養成講座」はまさしく支援の具体的な取り組み、そのノウハウをお伝えする研修となりました。ポイントの1つは行政機関支援、地域代表会議の支援、個別地域支援との3段階での支援を盛り込んだこと、また名称をコーディネートやコンサルティングではなく、「ファシリテート」としたことです。これは、地域が主語であり、我々はあくまでその力を促す、柔道や合気道のような支援の仕方であると考えたからです。

阿部：これまで、石原が世話を務める「シンシンシャンシャン会議」という全国有志のプロジェクトで学び合いをしてきました。その場で、それぞれの個性ともいえる支援の手法をできるだけ伝えられるように分解する努力をしていました。また、同時に内部においても新人に対して、試行錯誤しながら指導育成を図っていました。今回の養成講座も、まだまだ支援手法の確立と呼ぶには遠いかもしれません、1つずつ、シェアできるところや他地域で展開できることを、志を同じくする仲間（行政機関の方も含めて）と共有させていただき、同じ地域を支援するチームとしてともに高め合うような関係づくりができるべきだと思います。そして、当研究所の職員も含めて、支援のプロフェッショナルとしてこの仕事を目指す担い手が適切な努力と苦労をしながら、成長することに、役立つような取り組みに

なり、そして、それが私たちのような仕事（支援の仕事）の確立につながればと思います。また、それが結果として地域に対する持続的なつながりになり、主体形成を強く後押しするものになると考えています。

初心に戻り、 それをアップデートする。

石原：一方、これから2020年代は地域の新たな形を模索する10年にもなるのではないかと思います。今年度は新型コロナウィルスの感染拡大防止を前提とした社会に向き合うことから始まりました。地域でも会合やサロンの実施が困難となり、これまで人と人が一緒に取り組むこと、そのための場づくりの支援を重要視していた私たちにとって、あり方を考える時間となりました。一方、それは翻ると地域での集まりがやはり重要であり、社会的な意義をもつことである事実の確認ともなったと思います。地域のつながりは、身体的にも精神的にも価値がある。このつながりと、そこで生まれていることで社会のある基盤は支えられている。この再確認を踏まえ、一方でこの間に導入が進んだオンラインでのコミュニケーション技術の導入やテクノロジーをどう使うかが1つのポイントになるのではないかと思います。思い返せば、みんなの集落研究所の取り組みは地域での買い物調査から始まりました。生活を支える買い物や通院などの在り方。最新技術を、地域を支え続けている移動販売などの民間の大切な取り組みをベースにして考える。こうしたことが、これまでできなかった新たなチャレンジにつながるのではないかと考えています。あらためて、2020年のテーマは「初心に戻り、それをアップデートする」であると思います。組織内でも人材育成にさらに力を入れながら、挑戦していきたいと思いますので、どうぞ、引き続きのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

プロフェッショナルを目指す担い手が
適切な努力と苦労をしながら、
成長することに
役立つような取り組みに。

阿部 典子

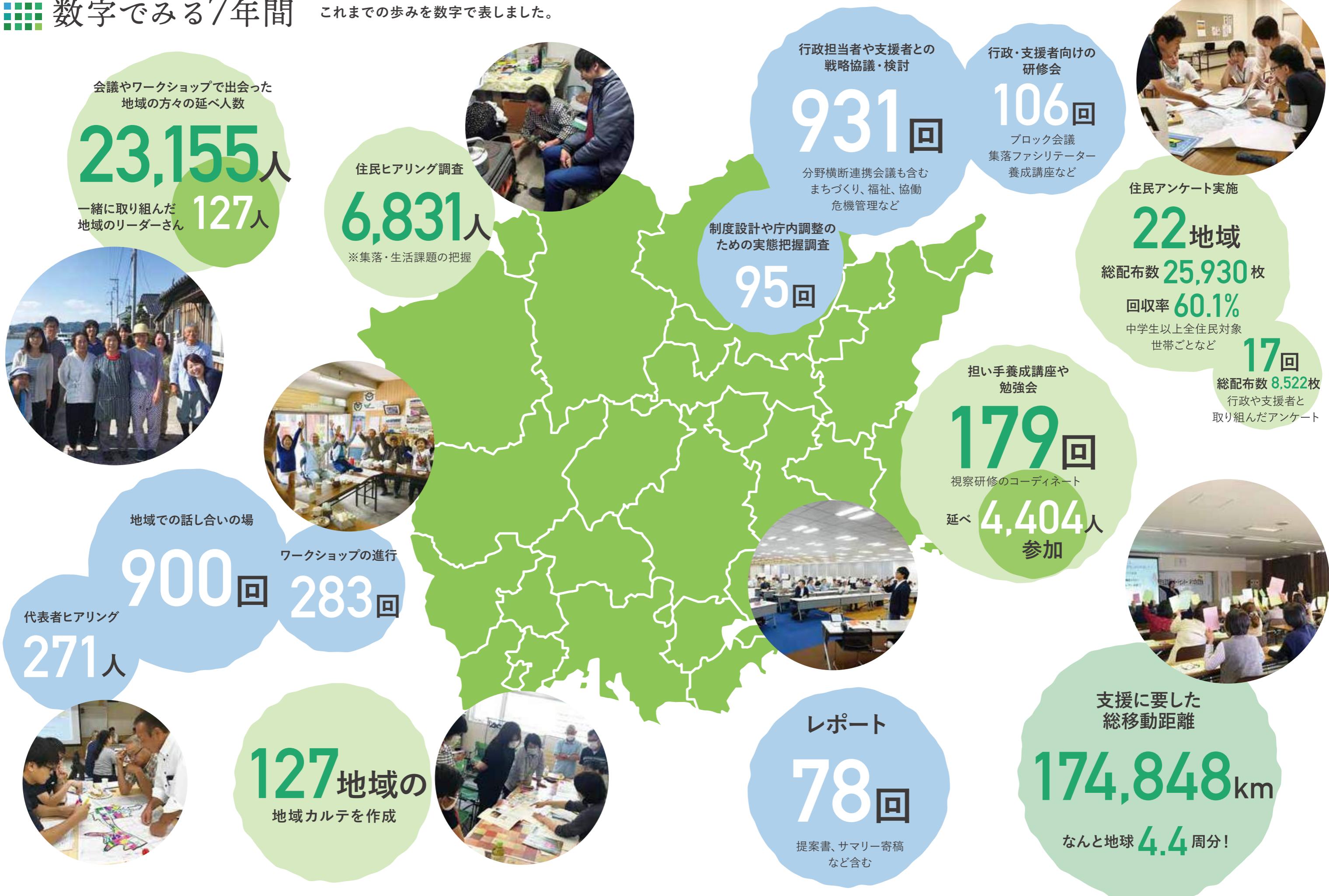
ABE NORIKO

NPO法人 みんなの集落研究所 首席研究員



数字でみる7年間

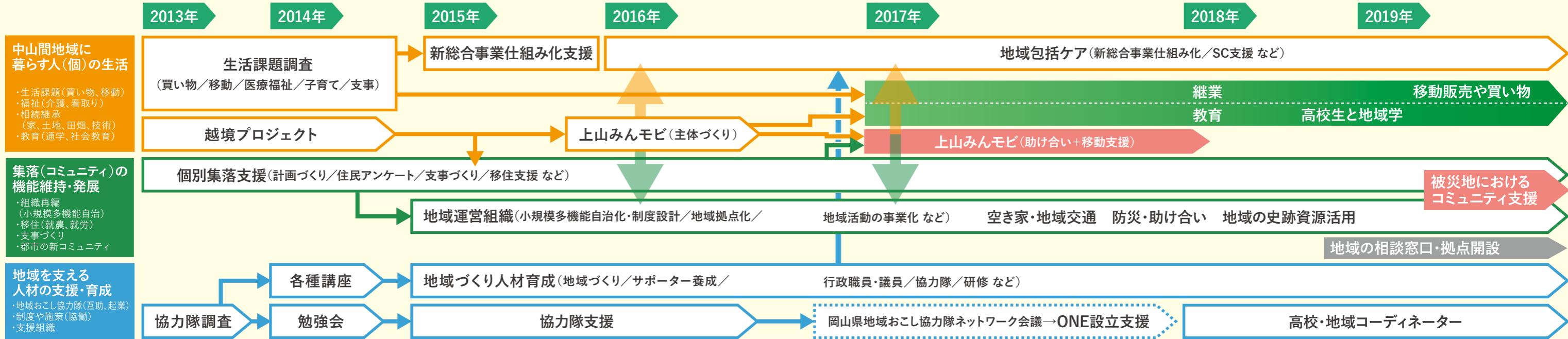
これまでの歩みを数字で表しました。



※平成23年度～令和元度の数値です。不明な部分は平均値を算出しています。※当法人の前身団体の1つである集落支援ヒビサトの調査実績含む

事業年表 2013~2019

これまでの事業の変遷と各年度のプロジェクト名をご紹介いたします。



2013 みんなの集落研究所設立

公益財団法人トヨタ財団

「中国地方の中山間地域において、買い物行動を軸に、あらゆる境界の壁を超える生活の仕組みづくりプロジェクト」
岡山県
「生活基盤維持サービスSB化検証調査事業」
「生活基盤維持サービスビジネスモデル調査・提案事業」
「岡山県中山間地域協働支援センター事業(買い物をしやすい環境づくり)」
岡山県美作県民局
「おかやま元気!集落連携促進事業」

久米南町
「地域活性化推進事業コーディネート」
吉備中央町
「買い物等調査分析及びコーディネート事業」

高梁市宇治地区
「宇治地区機能調査分析及び計画づくりワークショップ」
高梁市松原地区
「移住定住促進活動事業」

笠岡市
「空き家調査事業」
自主事業
「新しい総合事業調査」「小規模多機能自治研究」「移住者ヒアリング」「地域おこし協力隊調査」など

2014 県境プロジェクト開始

公益財団法人トヨタ財団

「中国地方の中山間地域において、買い物行動を軸に、あらゆる境界の壁を超える生活の仕組みづくりプロジェクト」
岡山県美作県民局
「一社一村促進プロジェクト推進事業」
「おかやま元気!集落の特産品及びジビエ料理に係る普及啓発イベント開催事業」
「平成26年度ジビエのある生活普及促進事業」
岡山県備前県民局協働提案事業
「おかやまの『今すぐ使える』取り組みレポート活用事業」

岡山市
「生活支援サービス等の社会資源把握調査」
「平成26年度中山間地域(御津・建部)における地域住民活動応援事業業務委託」
「犬島事業方針策定支援業務」

高梁市備中町西山地区

「高梁市備中町西山地区おかやま元気!集落事業コーディネート事業」

ir.bisei

「美星の魅力満載発信プロジェクト管理・運営業務」
岡山県商工会連合会

「儲かる地域づくり支援事業」

吉備中央町

「吉備中央町買い物支援事業」

美作市

「巨勢地域活性化応援事業」

美咲町

「中山間地域等活性化応援事業(頑張る棚田特産品ブランド化応援事業)」
ふるさと島根定住財団

ふるさと島根定住財団

「平成26年度地域づくりきっかけセミナー及び地域課題解決アカデミー」

備前市鶴海地区

「地域の助け合い勉強会コーディネート業務」

高梁川プレゼンターレ

「倉敷市ソーシャルビジネス推進事業」など

2015 新しい地域支援事業への支援開始

岡山県美作県民局

「みまさか生活支援体制整備サポートデスク事業」

「一社一村促進プロジェクト推進事業」

「ジビエのある生活普及促進事業」

岡山市

「岡山市生活支援強化推進事業業務委託」

「岡山市中山間地域等の実態把握調査業務委託」

「岡山市地場産農産物の取扱にかかる調査業務委託」

「犬島地域活性化ワークショップ実施業務委託」

「中山間地域住民活動応援事業支援業務委託」

岡山市ふれあい公社

「岡山市生活・介護支援センター養成講座」

瀬戸内市

「地域自治組織づくりに向けた調査及び計画策定業務」

「瀬戸内市協働のまちづくりシンポジウム実施業務」

「瀬戸内市協働提案事業『地域で高齢者を支える仕組みづくりのための資源調査』」

美作市

「美作市内の事業継承の実態に関するアンケート調査」

「中山間地域等活性化応援事業」※栗井地区

美咲町

「新総合事業仕組みづくり研修会実施委託」

岡山県商工会連合会

「儲かる地域づくり支援事業」

高梁市宇治地区

「宇治リスタート事業等支援事業」

備前市鶴海地区

「鶴海地区地域づくり勉強会」

井原市野上地区

「野上地域づくり戦略のためのワークショップ及びアンケート支援事業」

井原市荏原地区

「荏原地区若手の地域づくり勉強会の支援」

岡山県商工会連合会

「儲かる地域づくり支援事業」

ふるさと島根定住財団

「平成27年度地域づくり入門講座実施業務」

佐野アトリエ

「平田107』ニーズリサーチ事業」

自主事業

「RESUS(リーサス)研修会」

「協力隊のジレンマ(岡山県内の地域おこし協力隊支援)」

「地域の助け合い勉強会コーディネート業務」

高梁川プレゼンターレ

「倉敷市ソーシャルビジネス推進事業」など

2016 みんなのモビリティプロジェクト開始

2016 みんなのモビリティプロジェクト開始

一般財団法人トヨタモビリティ基金

「上山集楽みんなのモビリティプロジェクト」

岡山県美作県民局

「一社一村促進プロジェクト推進事業」

「みまさか生活支援体制整備サポートデスク事業」

津山市

「津山市支援員派遣事業」

「津山市住民自治協議会事業支援業務」

岡山県美作県民局

「一社一村促進プロジェクト推進事業」

「みまさか生活支援体制整備サポートデスク事業」

岡山市

「岡山市中山間・周辺地域活性化支援事業業務委託」

久米南町

「久米南町新総合事業コーディネート業務」

岡山市ふれあい公社

「岡山市生活支援センター養成講座」

自主事業

「残したい仕事を人づくり研究会」

「生活支援に関する調査」

中四国

「小さな拠点及び地域運営組織の形成促進事業実施業務」

井原市

「地域運営支援」

滋賀県高島市

「高島市アンケートワークショップ運営業務」

美咲町

「美咲町自治運営組織及び担い手育成支援にかかる提案事業」

高梁市

「美咲町自治運営組織及び担い手育成支援にかかる提案事業」

高梁市

「高梁市まちづくり研修会実施委託」

岡山県商工会連合会

「儲かる地域づくり支援事業」

久米南町

「久米南町新総合事業コーディネート業務」

滋賀県高島市

「高島市アンケートワークショップ運営業務」

井原市野上地区

「野上地域づくり戦略会議運営サポート業務」

岡山県市町村振興協議会

「令和元年度調査研究事業『防災意識向上研究会』など

美咲町

「ワークショップファシリテーター派遣業務」※飯岡地区
「美咲町集落のあり方(自治運営組織及び担い手育成支援にかかる提案)事業業務」

久米南町

「久米南町新総合事業コーディネート業務」

井原市野上地区

「野上地域づくり戦略会議運営サポート」

美作市巨勢地区

「旧巨勢小学校を拠点としての地域創生ネットワーク事業」

「体制の強化・アクションプランの作成・担い手づくり」

岡山市平井学区

「平井学区地域づくり会議 地域課題・ニーズ調査専門部会 戦略づくり及び座談会ヒアリング実施支援」など

2017 津山に県北事務所開所

瀬戸内市

「地域自治組織制度づくり及びビジョン策定等支援業務」

鏡野町

「安心して暮らせる地域支援事業」

美咲町

「多世帯居住コミュニティ推進事業」

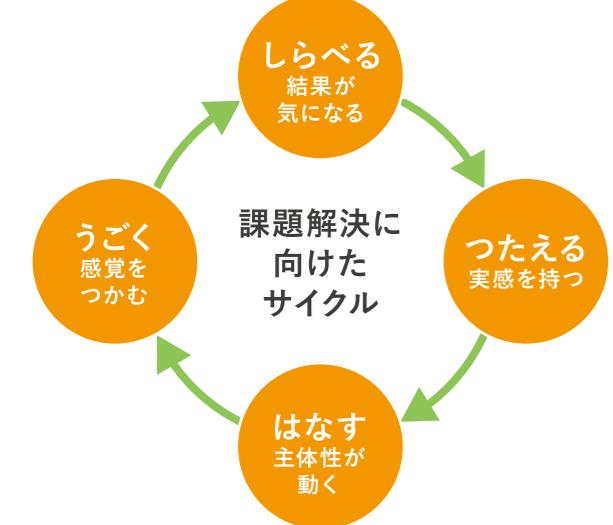
岡山市ふれあい公社

「岡山市生活支援センター運営業務」

一般財団法人トヨタ

地域が主体の課題解決のために

私たちが目指す地域の在り方は、地域の課題を「地域が主体」となって解決していくことです。私たちは地域の運営支援や、地域と他をつなぐコーディネートだけでなく、時代の変化に合わせて地域の在り方も進化し続けることをファシリテートしていきます。そして、地域自らが持っている力を最大限に引き出す支援を行っています。



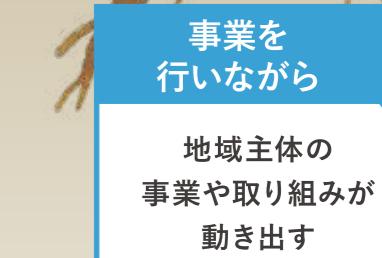
①地域の土台を
しっかり張って



②自発的な
思いを育む



③地域による地域のための
課題解決を継続する力を



問題や不安を見つける
地域の状況を把握し、課題へ押し上げ

話し合う場づくり
必要性を実感し主体づくりへ進んでいく

何をするか協議・共有する
住民を巻き込んでいく計画づくり

事業化に向けて
組織づくり基盤づくり

事業を行なながら
地域主体の事業や取り組みが動き出す

分野を横断した
一体的な取り組みを
サポートすること
で支えます

地域の情報収集

住民へのヒアリング

地域カルテの作成 隨時更新作業

地域代表との打ち合わせや調整

地域の話し合いの場の設定とファシリテーション

アンケート調査・分析

地域づくりの人材育成 ワークショップ・勉強会・フォーラム

先進地域の視察交流

具体的な手法の
アドバイスとマッチング



空き家の活用
生活の助け合い

移動や交通
防災



見守り

防災

地域のエンパワメントを 第一においた地域運営組織支援

事例Vol.1

上加茂地区住民自治協議会の取り組み

★ 2008年～

津山市の「住民自治協議会事業」の
モデル地区として協議会設立

グラウンドゴルフ大会や敬老の集いなどイベント中心の活動



★ 2016年

協議会総会で「イベントをするだけなら、
もう協議会を解散したらいいいんじゃないか」という
声が複数の町内会から上がった

2008 ~ 2016年

★ 2017年

まずは地域の課題や資源をみんなで話し合う
2ヶ月に1回のペースで会議を開催

- ・各町内会のスケジュール共有
- ・各町内会の課題、資源出しワークショップ
 - 上加茂全体の共通の課題出し・課題解決策の検討
- ・解決策実施範囲の検討



2008 ~ 2016年



岡山県津山市上加茂地区

パートナー: 津山市役所地域づくり推進室

構成町内会: 河井、山下、知和、物見、青柳 期間: 2017年5月～現在

人口: 606人 世帯数: 233世帯 高齢化率: 44% ※2019年3月4日時点

★ 2018年

地域の声を活動の原動力へ
月1回のペースで会議を実施

- ・地域振興計画(5年間)作成と協議会スローガンの設定
- ・住民アンケート調査票を約3ヶ月かけて作成

上加茂地域の中学生以上を対象

- ・アンケート回答率が89%となる
- ・アンケート結果の分析 → 4部会構成に変更



上加茂地区住民自治協議会 シンボルマーク



活き活き
上加茂未来へ
つなぐ我が
ふるさと

★ 2019年

協議会一体となって課題解決の実践
空き家部会は県の空き家対策
事業のモデル地区に選定

- ・各部会で課題解決に向けた事業実施

・空き家部会

- 空き家外観内観調査
- 空き家掃除ワークショップ
- 空き家管理サービスへ
向けた検討



・移動部会

- 先進地事例勉強会
- 運転協力者募集
- 移動の助け合いの仕組み化



知和町内会の取り組み

★ 2012年



知和を大家族と捉え、
住民同士で支え合うことを
目的にしたNPO法人を設立

お墓掃除や雪かき、草刈り
田舎体験などを実施



みんなの集落研究所の支援

★ 2017年

○事前準備

- ・5町内会長へのヒアリング
→ 状況理解、1年間のスケジュール設定
- ・リーダーとの事前
打ち合わせを行い、
会議のテーマや
ゴールの設定
- ・人口シミュレーション図作成
これまでの10年とこれからの20年



★ 2017年

○会議での役割

- ・会議進行
- ・ワークショップ補助

★ ポイント

- ・リーダーの思いと参加者の
テンションを俯瞰で見る
- ・より深い情報を
引き出すための質問をする
- ・会議が終わった後でキーに
なる参加者の思いを探り、
気持ちを上げる

★ ポイント

★ 2018年

○会議での役割

- ・アンケート作成サポート
- ・アンケート結果分析
- ・地域振興計画の策定サポート
- ・部会設定サポート

★ ポイント

- ・アンケートの方向性を明確化
誰に? 何を聞いて?
どんな力につなげる?
- ・クロス集計分析 全体と比較
- ・テーマごとに細かな分析を行い、
メンバーと共に共有する

★ 2019年

○会議での役割

- ・部会活動サポート
- ・視察先のマッチング
- ・地元高校生とのマッチング
- ・部会メンバーと企画づくり

★ ポイント

- ・参加者のつぶやきを逃さずして
企画につなげる 6W2H
- ・人と人を適切な
タイミングでつなぐ
- ・課題解決を楽しめる参加の
輪を広げる

府内担当課間の連携による 地域への支援体制づくり

事例Vol.2

個別地域への支援・サポート

★ きっかけ

地域主体の資源活用やビジネスへの取り組み支援

事業名：「おかやま！元気集落事業」「一社一村事業」（岡山県美作県民局）
 ・20年前に終了した地元の揚げ豆腐を復活し農家レストランを開店
 ・地域の野草（和ハーブ）を活用した特産品づくりなど



★ 美咲町
での
みんけん支援



★ キーワード

「中山間地域の集落と資源を関心の高い企業やNPOとつなげる」「魅力発信」「地域資源の活用」「特産品づくり」

★ ポイント

・地域が主体的に取り組むビジネスから、
 地域内外の能動的・継続的な支援につなげる
 ・最初は個別地域にとって必要な取り組みの支援から



個別地区

2012年

2013年

2014年

2015年



岡山県久米郡美咲町

パートナー：美咲町地域みらい課

2005年3月、中央町、旭町、柵原町の3町が合併し誕生。期間：2012年～現在

人口：14,087人 世帯数：5,945世帯 高齢化率：40% ※2019年4月1日時点

府内連携の支援体制へ向けて

★ きっかけ

★ 美咲町
での
みんけん支援

まちづくり協議会支援 ⇄ 総合事業体制整備支援事業の積み上げ

事業名：「美咲町多世帯居住コミュニティ推進事業（府内支援）」（美咲町）
 ・地域課題共有会議（府内横断会議）
 ・地域での会議や視察研修関係課一斉参加の視察研修など



★ キーワード

「分野横断」「府内連携」「支援体制」「仕組み検討」

★ ポイント

・福祉分野に限らない横断した支援の必要性
 ・複数部局による複数事業目線からの支援や制度の協議検討



地域運営組織（課題解決型の体制づくり）の支援

★ きっかけ

地域運営組織や小規模多機能自治の推進へ向けて
 地域がそれぞれにあったやり方で主体的な地域づくりを行う

★ 美咲町
での
みんけん支援

事業名：「美咲町多世帯居住コミュニティ推進事業（協議会支援）」（美咲町）
 ・13地区のまちづくり協議会の状況の把握・整理（地域カルテ作成）
 ・まちづくり協議会の必要性の理解を深める研修会など



★ キーワード

「地域自身が課題を把握・共有」「多様な主体で話し合うための伴走的な支援」

★ ポイント

・個別地域で終わらない全域での状況把握と伴走支援
 ・「なぜ必要か」の共通理解を深める



美咲町全体

2016年

2017年

2018年

2019年

福祉分野との連携（新総合事業の体制サポート）

★ きっかけ

★ 美咲町
での
みんけん支援

平成29年度介護保険制度改正による「介護予防・日常生活支援総合事業」の導入
 平成27年度より県内全域への移行・立ち上げ状況の調査・支援者間での協議や検討

事業名：「みまさか生活支援体制整備サポートデスク事業」（岡山県美作県民局）
 ・支援者間（自治体福祉担当部局 ⇄ 地域包括支援センター ⇄ 社会福祉協議会）における調整・協議検討
 ・地域対象の生活支援センター合同会合など



★ キーワード

「通所・訪問」「買い物・移動」「生活支援コーディネーター」

★ ポイント

・福祉の分野においても「地域主体」が重要
 ・その支援のために支援者間での連携、体制構築が必要



分野連携

上山集楽みんなの モビリティプロジェクト

事例Vol.3

地域の声をもとにプロジェクトの体制を構築

2016年1月、NPO法人英田上山棚田団と共に一般財団法人トヨタモビリティ基金の助成を受けて、地区の課題や生活者のニーズを明らかにし、住民が主体となって継続的に取り組める解決策の検討を開始。住民へのヒアリング調査をもとに、以下の3つのチームを作りプロジェクトを実施。

- ① 日常生活部門（買い物や通院、通学などの不便解消）
- ② 農林業部門（中山間地域の農林業の負担軽減）
- ③ 仕事づくり部門（生きがいを兼ねた仕事の創出）

★ 支援のポイント

- ・世帯主だけでなく、中学生以上の住民一人一人にヒアリング調査を実施
- ・イベント的な取り組みから、日常により密接な活動への展開をサポート



2016年

2017年

住民の主体性を高めていくためのアプローチ

ヒアリングの調査結果を報告会開催やプロジェクトオリジナルの新聞によって住民の方々に共有。

地域の現状をより具体的に知っていただき、住民自らが課題に対応する意識を徐々に高めていった。2017年5月には、住民相互に日常生活の困りごとの解決や居場所づくり活動を行う「助け英田しちゃろう会」が発足。

★ 支援のポイント

- ・生活課題として挙がった内容が、実は地域内の「助け合い」によって解消できることをワークショップを通して住民同士で確認
- ・支援組織がすべてをやり切ってしまうのではなく、「まずはこれならできそう」という声と人を集めて、主体となる組織の立ち上げをお手伝い



岡山県美作市上山地区

パートナー:NPO法人 英田上山棚田団 協力:美作市、岡山大学 他
助成元:一般財団法人トヨタモビリティ基金

外部人材などと連携し、荒廃した棚田や空き家の再生、利活用を行っている。期間:2016年1月1日～2019年3月31日
人口:153人(うち2010年からの移住者が40人以上) 世帯数:65世帯 高齢化率:39% ※2020年5月時点

外部団体とのネットワークやテクノロジーを活用

岡山大学と連携し、地域の新たな足として超小型EV「コムス」を活用した実証実験を実施。買い物支援の手段として岡山県内の移動販売業者と上山住民とをつなぎ、地区内で移動販売もスタートした。また、農作業の効率化については専門とする企業・大学にご参加いただいて、山間部の農業課題に対してチームごとにアイデア出しを行う「ハッカソン」を開催。開催後、参加企業が連携して上山地区内で半自走式草刈り機を開発することとなった。



★ 支援のポイント

- ・テクノロジーの活用など、専門性の高い分野については外部団体、企業などと積極的に連携し、ノウハウを地域に提供
- ・県内における取り組み事例やネットワークの蓄積を地域支援に活かす



2018年

2019年

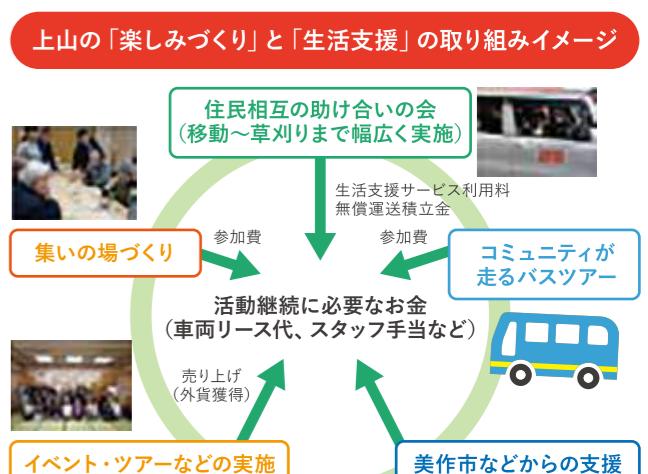
助成金から自主財源での運営へ移行

2019年3月末での助成期間終了を見越して、「助け英田しちゃろう会」の方々と活動の継続案を検討。交流の場づくりや集落内の住民限定のバスツアーの企画、カーシェアを利用した支え合いの送迎などによる利用料や積み立て金、イベントの売り上げを自主財源として継続する仕組みづくりの支援を行った。



★ 支援のポイント

- ・生活支援ばかりを行うのではなく、楽しみづくりも合わせてしていくことで、関わる人に多様性を生む
- ・会員が定期的に集まり、会の財政状況を共有できる場を設けることで継続を役員だけの負担としないように仕組みづくりを支援



2019年度事業報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

1. 事業の成果

令和元度は、これまで得た地域支援の経験を基にした仕組みの設計や個別の地域支援に加えて、形成した地域主体の課題解決に向けた取り組みとして、拠点づくりや防災、空き家など具体的な取り組み支援を行いました。同時に、連帯で課題を超えていける体制づくりを目指し、自治体職員・中間支援組織など支援者を対象にした研修や勉強会など支援者間の学び合いの機会を設けました。また高校生と地域のマッチングを通して、高校生地域コーディネーターなど、新たな領域についても取り組んだ1年でした。

2. 事業の実施に関する事項・特定非営利活動にかかる事業

[定款の事業名] 個人・家族の課題解決の仕組みづくり支援事業

[事業内容] 事業承継に関する事業

集落に暮らす人（個）の生活の課題として資源を継ぐ仕事を残すことを目的に地域資源を守り、新住民または地域で育つ人にとっての地域に根付く仕事を残し、つなぐための現状把握と啓発を行った。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月27日 [実施場所] 岡山市地内

[従事者的人数] 3人 [支出額] 3,157 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 230人

[定款の事業名] 集落・組織の課題解決の仕組みづくり支援事業

[事業内容] 市町村に対する支援

岡山県の各自治体に対して、地域運営組織体制構築の推進に係る支援を実施した。昨年度に続き、美作圏内の自治体に対してヒアリングを行い自治体に応じた提案を行った。加えて小さな拠点形成に関するモデル地区支援と、それに伴い必要となる地域運営体制の状況把握や今後の地域支援の在り方提案を行った。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

[実施場所] 前市三石地区・赤磐市吉井地区・美咲町旭地区及び美作県民局管内

[従事者的人数] 6人 [支出額] 5,531 (千円)

[収益対象者の範囲及び人数] 自治体担当者15人 地域住民300人

[事業内容] 自治体の仕組みづくり支援

自治体における支援体制整備を加速させるために、担当課を超えた連携のための情報収集やワークショップ・研修会による地域状況の把握や仕組みの検討、地域へのアウトリーチ手法のノウハウ提供及び検討を行った。またモデル地域の主体形成を行った。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

[実施場所] 濑戸内市、鏡野町、美咲町、浅口市

[従事者的人数] 6人 [支出額] 7,535 (千円)

[収益対象者の範囲及び人数] 自治体担当者10人 地域住民100人

[事業内容] 集落支援

個別の地域に対するコンサルティングを中心に、地域の主体づくり・組織体制づくり・計画づくりを支援した。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

[実施場所] 津山市、倉敷市（全体・真備・川辺・穂井田）、井原市（野上・大江・県主・美星・芳井）備前市（片上・三石・神根本・鶴海）、新見市（正田・萬歳）京都府京丹後市、高梁市宇治

[従事者的人数] 7人 [支出額] 7,697 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 640人+地域（津山2,000人）事業

[事業内容] 空き家事業

主体形成された地域の様々な課題解決に向けた支援において特に今年度は空き家をテーマとした取り組みを強化した。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月22日

[実施場所] 津山市（上加茂・阿波）、浅口市大谷、井原市（野上・県主）、久米南町山手

[従事者的人数] 7人 [支出額] 2,480 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 50人

[定款の事業名] 地域を支える人材の支援・育成事業

[事業内容] 中高校生と地域のマッチング支援と中高生支援人材の育成

中学校や高校と連携して、生徒と地域のマッチングを図り、地域人材としての中高校育成とそのネットワークづくりを実施した。

同時に地域コーディネーターと協働で求められる役割や在り方をまとめた提言書を作成した。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

[実施場所] 久米南町・津山中学校・美作高校・津山東高校
フィールドワーク先地域（津山市城西・高倉・知和など）

[従事者的人数] 4人 [支出額] 2,392 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 300人

[事業内容] 地域を磨く人材育成支援

日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」を活用した地域主体のおもてなしプログラム構築の支援などを行った。

[実施日時] 平成31年4月26日～令和2年2月28日

[実施場所] 岡山市、総社市、倉敷市、赤磐市

[従事者的人数] 6人 [支出額] 5,328 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 120人

[事業内容] 生活支援コーディネーター及びサポートー支援

「介護予防・日常生活支援総合事業」における生活支援コーディネーターの支援活動のサポート及び地域の担い手（=サポートー）の活動支援を行った。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

[実施場所] 久米南町、浅口市、赤磐市、奈義町、玉野市

[従事者的人数] 3人 [支出額] 368 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 270人

[事業内容] 支援者支援

行政や社会福祉協議会、中間支援者など地域の支援者の学び合いとして講座・勉強会・研修を行った。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

[実施場所] 宮城県南三陸町、山口県、中国5県（松江、岡山市）、大阪府和泉、岡山県、井原市、新見市

[従事者的人数] 8人 [支出額] 1,105 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 554人

[事業内容] 講師派遣・寄稿

上記以外の講演、視察受け入れ、委員、寄稿を行った。

[実施日時] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

[実施場所] 岡山県全域、全国

[従事者的人数] 3人 [支出額] 661 (千円) [収益対象者の範囲及び人数] 80人

2019年度決算

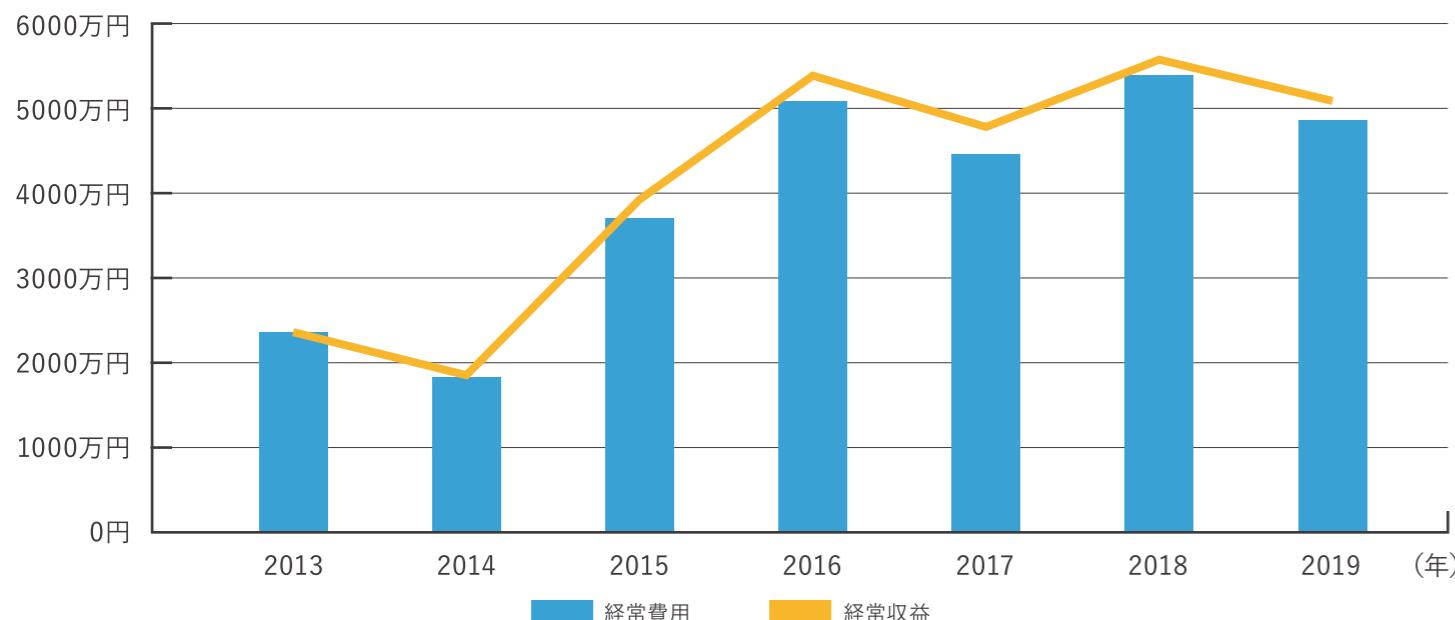
2019年度 第7期 活動計算書

2019年4月1日～2020年3月31日

| | 科目 | 金額(円) |
|------|---------|------------|
| 経常収益 | 受取会費 | 104,000 |
| | 受取寄付金 | 20,921 |
| | 受取助成金など | 4,000 |
| | 事業収益 | 50,149,844 |
| | その他収益 | 267,007 |
| | 経常収益計 | 50,545,772 |
| | 事業費 | |

| | 科目 | 金額(円) |
|-----------|-------|------------|
| 経常費用 | 人件費 | 27,923,286 |
| | その他経費 | 8,480,366 |
| | 事業費計 | 36,403,652 |
| 管理費 | | |
| | 人件費 | 5,620,472 |
| | その他経費 | 6,390,690 |
| | 管理費計 | 12,011,162 |
| 経常費用計 | | 48,414,814 |
| 当期経常増減額 | | 2,130,958 |
| 当期正味財産増減額 | | 1,580,658 |
| 前期繰越正味財産額 | | 5,851,585 |
| 次期繰越正味財産額 | | 7,432,243 |

損益の経年変化について



2019年度 第7期 貸借対照表

2020年3月31日

| | 科目 | 金額(円) | | 科目 | 金額(円) |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 資産の部 | 現金・預金 | 7,250,189 | 負債の部 | 未払金 | 8,621,143 |
| | 未収入金 | 10,567,724 | | 預り金 | 419,441 |
| | その他流動資産 | 132,781 | | 未払税など | 1,812,700 |
| | 流動資産合計 | 17,950,694 | | 負債の部合計 | 10,853,284 |
| 固定資産 | 有形固定資産 | 309,833 | 正味財産の部 | 前期繰越正味財産 | 5,851,585 |
| | 投資その他資産 | 25,000 | | 当期正味財産増減額 | 1,580,658 |
| | 固定資産合計 | 334,833 | | 正味財産の部合計 | 7,432,243 |
| 資産の部合計 | 18,285,527 | | 負債及び正味財産合計 | 18,285,527 | |

2019年度 監査報告書

監査報告書

令和2年5月21日

特定非営利活動法人みんなの集落研究所 代表執行役 石原 達也 様

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人みんなの集落研究所の令和元年度（第7期・平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行った。

私は、執行役の業務執行の状況に関する監査にあたっては、職事録等必要な書類を確認した。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査にあたっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款及び令和元年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に表示されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人みんなの集落研究所の令和2年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

監事 小橋 仙敬

監事 石田 駿史

以上

2020年度組織体制



代表執行役 石原 達也

皆さまのお陰で設立から約8年経ち、スタッフの成長により現場に伺うことが少なくなってきたが、逆に俯瞰してみながら気になること、思うことも増えてきました。暮らしと仕事との両立。災害やコロナウイルス等の危機で地域が脅かされないような生活の支えがどうあるべきか、さらに考え、取り組んでいきたいと思います。

評議員会

執行役会

執行役

執行役

執行役／首席研究員

執行役

執行役

執行役



梅谷 真慈

聞くは一時の恥聞かねは一生の恥。
何事も吸収できるよう頑張ります。



沖村 舞子

空き家事業を担当しています。主に淡口市、県南地域で活動中です。



阿部 典子

多くの地域・支援者の皆さんと対話を重ね、様々なチャレンジをさせていただいている。ありがとうございます。



水柿 大地

農村で暮らし、得た知見をお伝えさせていただきます！



佐藤 拓也

高梁市で柚子胡椒の生産・販売をしています。特産品で地域づくりを実践中です。



藤井 裕也

岡山の地域振興に身を捧げたいと思います！！

県南事務所



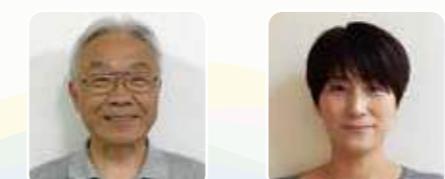
研究員
小野 賢也

地域・行政・支援者の皆さんとのつながりを大切に。頑張ります！



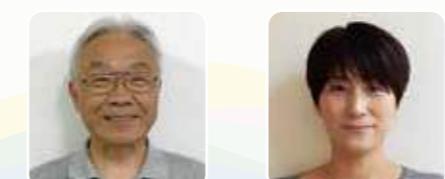
調査員
諏訪 岳憲

六十、七十は鼻たれ小僧のようですが、これからも精進します。



調査員
中野 奈美

人と人との縁を大事にしながら全力で地域づくりのサポートをさせていただきます！



調査員
永田 愛

皆さんにお会いできることを楽しみに、いつも笑顔で頑張ります！

県北事務所



研究員
三村 雅彦

皆さまとの出会いに感謝して、万里一空の心で頑張ります！



調査員
堤 尚子

子育て奮闘中ですが、仕事も家事も熟せるよう笑顔で頑張ります！



事務員
下山田 桂

非力ながら、皆さんの縁の下の力持ちとなるよう頑張ります。



調査員
西尾 夏希

すべての出会いを大切にし、日々邁進してまいります。

応援メッセージ



有田 昭一郎 氏 ARITA SHOICHIRO 島根県中山間地域 研究センター 研究企画監

人口縮小や少子高齢化の進行、様々な災害リスク、それに伴う地域課題の拡大が予想される中、この国を“次世代”に引き継ぐために、今我々大人に課されているのは、社会の全ての構成員が能力と技術を十全に発揮して問題解決に当たれるよう、コミュニティ、自治体、事業体などの組織の運営方法を改革し、そして協働の土壤を育むことだと思います。他方、プレイヤーの数自体が減少する中、従来の物事の決め方や進め方を自らの力のみで変えるのは一層困難になっており、地域、自治体、事業体の間に立ち、取り組みを伴走支援する中間支援組織の存在は益々重要になります。そのような状況の中、中国地方中山間地域における中間支援のバイオニアである、みんなの集落研究所の存在はとても大きく、地域づくりに取り組む人々や新たに中間支援を志す人々を勇気づけています。若い人材の育成にも取り組むみん研さん。共に挑戦し、そして応援していきたいと思います。

私たちが
地域へ
お伺いします！